

1. 会 議 名 市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会
2. 日 時 平成26年1月21日（火） 10時01分開会
10時25分閉会
3. 場 所 議場
4. 出 席 委 員 松元薫久委員長、竹原恵美副委員長、出口徹裕委員、
仮屋園一徳委員、石澤正彰委員、牛之濱由美委員、
濱崎國治委員、野畑直委員、大田重男委員、牟田学委員、
岩崎健二委員、木下孝行委員、鳥飼光明委員、山田勝委員、
中面幸人委員
5. 事務局職員 議事係長 牟田 昇、議 事 係 寺地 英兼
6. 会議に付した事件
・市の活性化と地元企業育成に関する調査
7. 議事の経過概要
別紙のとおり

市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会特別委員会

平成26年1月21日（火）

10時01分

審査の経過概要

市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会委員長（松元薫久委員）

おはようございます。

ただいまから、市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会を開会します。

本日は、本委員会の調査方法等について御意見を伺いたいと考えております。

ここで、本委員会の調査事項を読み上げてみますと、地元企業の育成及び本市の活性化を図るため、より効果的な政策について調査するとなっております。

そのために、1 本市の公共事業を含めた各事業の活性化の現状、2 他市町の公共事業を含めた各事業の活性化の実態調査、3 他市町の地元企業育成の取り組み、以上3項目を調査することになります。

ここで、本委員会の調査方法等について、各委員の御意見をお伺いしたいと思います。

その前に、私の考えとしましては、調査事項の1番目に公共事業を含めた各事業の活性化の現状というのがありますので、まず、第一次産業の農業、漁業を調査し、その後、商工業及び建設業等について順次調査していったらどうかと考えております。皆さんの御意見をお伺いしたいと思います。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。農業、漁業、商工業、建設業ということで。

それでは御意見がないようなのでお諮りしたいと思います。

出口徹裕委員

分類的にちょっとわからないところがあるんですけど、いろいろ事業があるんですけど、福祉関係とかもそういった分類で、公共事業に入ってくるという形でいいんですか。

市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会委員長（松元薫久委員）

私も福祉は入れたほうがいいんじゃないかということは考えたんですが、市の活性化というところを考えたときに、国の制度に乗った形で福祉の政策というのはありますので、市の活性化という視点からしたら、福祉部門を調査したところで何かあるかなというところも。皆さんの意見も聞きたい部分ではあったんですけども。福祉について、入れたほうがいいかどうかというのはここで御意見を伺いたいと思います。

出口徹裕委員

確かに調査項目についてあまり思い浮かぶ点はないので、委員長が言われるとおりで、私としてはそれであれば結構です。

市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会委員長（松元薫久委員）

ほかにございませんか。

竹原恵美委員

市の活性化という中で、今の、私が知っている範囲では健康診断の受診率によってペナルティーが課せられてて、その分、市の負担金がふえてるという状況があります。そのために受診率を60%上げようという市も、日置市なん

かは成功している、今、5万人ですけれども。そういうところもあるので、そのルールを知ったうえで受診率を上げるというふうなのも私はアイデアとして持っていたので、市の活性化として、まず項目として、土台は今基礎の、ベースの項目の中からはずさなくてもいいんじゃないかなと思います。

市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会委員長（松元薫久委員）

ほかにございませんか。

木下孝行委員

今、竹原委員の福祉、医療の話がありましたけど、活性化というとならえ方を考えたとき、一般的な考え方といえば、やっぱり基本的にはまちおこし、いわゆるまちを元気にしていく。それはイコール産業だと私は思うんですよね。そういった中で、医療というのは市の政策的なことのほうの意味合いが強くて、活性化というのに福祉、医療というのはちょっと私は離れているのかなというふうな、これは私の個人的な意見であります。そこらもちょっと協議してもらえたらと思います。

市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会委員長（松元薫久委員）

ほかに御意見ございませんでしょうか。

牛之濱由美委員

今、先ほど出口委員のほうから福祉関係もという一つの考え方ということがあったんですけど、今、木下委員からも一つの考え方ということがあったんですけど、今、木下委員からも福祉・医療関係は活性化からちょっとはずれるのではないかという意見があった中でですね、いろいろ調べてみますとこれからの保育、児童福祉法に関連する法案とか、先ほど委員長が言われたみたいに、これは国の政策によってするものであってという意見もあったんですけど、どんどん法改正がなされる中で、各市町村にゆだねられる、そういう事業がたくさん今後入ってくるわけですよ。放課後児童教室にしても、一般の企業さんにも認められるというような形も入ってくる。そんな中でまた入札関係を言われるのであれば、やっぱりそういうのも一つの視野にも今後入れていく必要もあるのかなと。これからどんどん一般企業がそういう認定子ども園なども開設ができるという法律にもなってきます。そういう中で、やはり議会の立場としてもそういうふうの一つ携わっていくことが今後多々出てくると思うんですよ。それも一つの、少し知識としての勉強もしていく必要があるのかなと。そういうのも中に少し織りまぜながらというような私の考えでした。

市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会委員長（松元薫久委員）

今、いろいろ福祉に関してですね、御意見をいただいたんですが、今の牛之濱委員の考え方というのも非常に大事な調査の部分ではあるかと思います。ただですね、やはり公共事業、そして市の活性化という観点でこの特別委員会は進めていったほうがいいかなと。市の経済のサイクルを調査していくということですので、福祉・医療に関しては既存の常任委員会で調査することもできますので、この特別委員会の中ではですね、福祉という部分を残しても構わないとは思いますが、はずす必要もないかなと、今意見を聞きながら思うところであるんですが、基本的な考え方としては産業、経済という部分で公共事業を取りまくものについて調査を進めていく。あまり広い範囲で調査をしてもですね、なかなか大変な調査になってくるかと思うので福祉の部分を残すか残さないかは私が決めるところではないんですけれども、そういうふうな考

え方を理解していただきたいなと思っております。

竹原恵美委員

先ほど委員長が順番付け、先に農業、漁業ということがありましたけれども、そういう意味で先に順位の高い産業に関すること、観光に関すること、優先順位が先にきて、それを処理していく中で、最終的にはそこまで範疇として残しておいて、そのとき必要な事業も、国のほうも変わってくることはわかっていますので、優先順位を今、言えば担当課なんかの関連づけで決めていく。その後ろに題材として入っておけば、それは勉強可能、自分たちの必要な情報を入れる今回の委員会の中で作業はできると思いますが、残してはいかがでしょうか。

市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会委員長（松元薫久委員）

ほかに御意見ございませんでしょうか。

牟田学委員

福祉関係もなんですけども、とりあえずですね、農業、漁業、商工業、そういった観点で所管課のですね、これから先5年、どういう政策を持っているのか、そこあたりを調査をしてですね、やっていけばいいのかなと。農業に関しては中山間で牟田農道も今やっているわけですけども、そこあたりが完成したときにですね、水はどうなのか。そういうのがあるから、所管課がここ先5年ぐらい、どういう政策を持って、補助金にしても、申請にしても、どういう考えを持っているのか、そこあたりをいろいろ調査をしてみたいと思っております。

牛之濱由美委員

ちょっと質問というような形になるかなと思うんですけども、最終的に、これは委員会が立ち上がる過程で地元企業の育成という、そういうのも観点に入れてあったようですけども、最終的にこの特別委員会が終了した時点です、ね、どういう形でそういう阿久根市に反映させていこうという形があるのか、ちょっとその辺がお尋ねしたいんですけど、委員長。

市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会委員長（松元薫久委員）

提案させていただいたときに、審査の中身でどういうふうな結論が出るかわからないというふうに言ったと記憶しているんですが、普段、議員が活動を個人個人されてですね、農業に関しても漁業に関しても、建設業界に関しても、商工業に関してもですね、いろいろな個別の問題はですね、課題というか、阿久根市の中にある各分野の課題というのは耳にしているかと思います。そこら辺をですね、きっちり特別委員会という形で議会が調査して、課題をまずはっきりと抽出して、また次の予算編成に反映していければというふうな、そこが目的になるかと思います。

山田勝委員

進め方についてだと思っ、うんですよね、今はね。だから、今委員長から提案されたことについてですね、例えば農業なら農業を考えたときですよ、例えば、私どもは議会及び所管課ではね、提案されたものに対する質疑、応答、審議をするじゃないです。しかし、特別委員会は、農政課なら農政課、農業全体の中で何が問題か、何で元気が出ないのか、何で活性化しないのかというところまでね、仮に私は踏み込んでいかないかんと思いますよ。それは、農業だけでなく商工業にしても水産業にしてもですね、阿久根の産業と言われる分につ

いてはですね、どういう部分が問題で、どういうことをどのようにしていったら活性化するんだろうかというところまで踏み込まないといけないという気がするんですよ。ですから、とりあえずは、今、例えば僕は農業話しだけしましたけど、きょうは農業なら農業をするよと。この次は変えてですね、商工、水産課をするよ。あるいはそれぞれ呼んでですね、何が課題か、何が問題かというのを掘り下げていかないと前には進まないかなという気がするんですが、いかがかな。そういう進め方を。

市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会委員長（松元薫久委員）

あと、進め方に関してはですね、順番についても、こっちのほうで農業、漁業、商工業、建設業という順番は設定させてもらってますけれども、もし、これも順番を変えるという御意見があれば変えてもいいかとは思いますが。あと、15名全体ですべてのテーマについて審査を進めるのか。それとも幾つかの小委員会にわけて進めていくのかというところもここで一緒に諮っていただきたいことではあります。

山田勝委員

私はね、全体でしないと意味がないと思いますよ。何でもかつたら、それぞれみんな考えがあるんですよ。いろんな考えがある、いろんな考えをこうすることによってですね、突破口が出てくるという気がするんですよ。私は片方しか見えない。それぞれですね、みんな専門分野があったり、それぞれわかったりしてるけど、なかなか気がつかないところがたくさん多い。だから、私はもう小委員会をつくってということよりも全体で、やはりそれぞれの、まず事業課ごとにですね、テーマを見つけ出すということの進め方のほうがいいかなというふうに思います。

市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会委員長（松元薫久委員）

ほかに御意見ございませんでしょうか。

福祉部門に関して残すという形で調査事項に福祉部門も入れるということによってよろしいでしょうか。

〔発言する者あり〕

暫時休憩いたします。

（休 憩 10：16 ～ 10：24）

市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会委員長（松元薫久委員）

休憩前に引き続き会議を続けます。

それではお諮りいたします。

本委員会の調査方法としては、初めに第一次産業の農業、次に漁業を調査し、その後、商工業、建設業等、福祉サービスと順に調査し、これらには各所管課において、市内産業の活性化を図る目的の各事業についての説明を受け、必要に応じ、現地調査及び先進地調査をしていきたいと思いますと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決しました。

次に、次回委員会の開催日についてお諮りいたします。

次回の委員会開催日は、ほかの行事等のかんがみ、委員長に一任願いたいと

と思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決しました。

開催日が決まりましたらお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。

以上で、本日の市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会を散会いたします。

（散会 １０時２６分）

署名

市の活性化と地元企業育成に
関する調査特別委員会委員長

松 元 薫 久